

白井第三小学校区まちづくり協議会設立準備会
第1回まちづくり計画検討委員会（防災）要点録

1 日時：令和3年6月27日（日）午前10時～正午

2 場所：富士センター 集会室

3 出席者

○準備会委員

氏名	出欠	備考
橋本 力	○	リーダー、防犯・交通安全WG
森岡 義人	○	地域交流WG
斎藤 一夫	○	子育て・福祉WG
龍野 紀子	○	担い手WG
吉澤 武雄	○	令和3年度富士西自治会長

○支援チーム・事務局

所属等	氏名	出欠	備考
支援チーム	元田 和寿	○	
〃	今井 利恵	○	
市民活動支援課	松岡 正純	○	
〃	保科 恭子	○	
〃	袖山 翔輝	○	

4 議題

(1) リーダー（委員長）の決定と自己紹介

- 参加委員で自己紹介を行い、互選で橋本委員がリーダーとなった

(2) まちづくり計画案の作成について

- 事前送付資料を基に、各ワーキンググループが作成した防災分野のまちづくり計画について説明を行った

防犯・交通安全WG

- ・人を育て組織を作り活動していく、最初は人づくりが必要
- ・資料を見るとどのWGも取組項目は順番が異なるだけで、私たちは人づくりが重要と考えて1番にした

地域交流WG

- ・災害が起こる前に備えるのか起きた後の対応か、どこに重きを置くかで異なる対応もあると思う
- ・一致協力のためにはお互いの顔を知らなければいけない、そのためにはコミ

コミュニケーション、あいさつが大事

子育て・福祉WG

- ・どのような個所に危険があるかなどが重要と考えマップを一番に持ってきた
- ・市で配布されたハザードマップより、より地域のことを入れたマップがあるとよい
- ・目標については、目を引くような言葉を使った

担い手WG

- ・子どもをメインで考えた
- ・コロナ禍において実施しやすいもので考えた
- ・小学校の協力も必要となると思うが、大人だけでなく子どものリーダーを育てていこうという意見になった

- 各委員のWG報告などを踏まえ、意見交換を行った

<各WG「目標（基本方針）」のキーワード>

- ・地域
- ・あいさつ
- ・子ども
- ・生命・財産
- ・防災となり組
- ・コミュニケーション
- ・ご近助

<取組内容におけるキーワード>

- ・人→組織（充実）→実行
- ・どこに重きを置くか…減災、防災
対応、ケア、協力体制
- ・どこに危険があるか（地域に特化）
- ・子ども目線→防災マップ、意識
- ・やれるところから
- ・防災リーダー→子どもと大人
- ・災害の前とあと

【出された考え・意見】

- ◇ 訓練はやるべきだと思う、今年度は無理だと思うが来年度はできるのでは
⇒現在自治連第三小学校区支部が防災訓練の主体、令和3年度実施について消防署に相談したところ実施について状況にもよるが前向きに検討するとの回答をいただいている
- ◇ 防災ではなく、日常生活がもとに戻る（復興）の部分が大切と思う
- ◇ 災害からどのように命を守るか
- ◇ 10年前の東日本大震災
- ◇ 防災連合について
⇒コロナ禍で立ち上げの動きが止まってしまった、設立に関わっている方は災害が起こってからでは遅いとの考えを聞いている
- ◇ リーダーは情報の拠点

- ◇ 自主防災組織がある自治会等には防災リーダーがいるのではないか、その人達と団体等の連合体が防災連合では
- ◇ 実際に災害が起こった際にどう動けばいいか、2年前の台風時に信号が停電してしまった時は色々とあった
- ◇ (リーダーの) 育成もしなければならない
- ◇ 防災連合の活動範囲、設置時期がまだ確定していないことから、計画の段階では、防災連合が担うであろうとされる部分についても、防災の部会で実施することとして考えで位置付けた方が良い
- ◇ 訓練もリーダー向け (HUGなど)、市民向け (防災訓練) がある
- ◇ マップは第三小学校区に特化したマップ、大人だけでなく子どもの目線も取り入れる
- ◇ マップ→地域資源マップ的なもの、一度作っただけではダメで更新が必要、何年かごとに更新する必要があると思う
- ◇ マップは誰が中心となって作成していくか→防災リーダー?
- ◇ 防災リーダーの研修、公の施設で行われるものであれば費用はあまりかからない

【目標 (基本方針) の案】

自助と共助で地域の防災力アップ

※次回会議までに、事務局で本日の意見集約を行いまちづくり計画シートへ反映させる。

※予算の基となるなるデータ (過去の自治連防災訓練の費用、冊子やポスターの印刷価格などを事務局で確認し、まちづくり計画シートへ反映させる。

次回会議：7月11日 (日) 午後5時から富士センター 視聴覚室